

## 1. 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4092000019		
法人名	医療法人柳川慈恵会		
事業所名	グループホーム春		
所在地	福岡県柳川市西浜武1085-1 (電話) 0944-72-2211		
自己評価作成日	令和 5 年 12 月 25 日	評価結果確定日	令和 6 年 3 月 12 日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

敷地内には母体の医療機関や介護保険施設があり第2の我が家としてグループホーム春は平成18年に開設しました。バリアフリーの安全な環境のもと家庭的な雰囲気の中でいつまでも本人らしい生活が送れるように職員は日常生活の介助を通して利用者の安心とゆとりのある暮らしを支援出来るように努力しています。医療機関とは隣接しているので利用者様の急変時でも素早く対応出来ることは強味である。近隣の保育園の慰問、地域行事への参加等地域との交流を多く取り入れられるように努めている。月1回お茶回を開きいつもより少し豪華なおやつを提供し職員と一緒にゆっくり過ごして頂いている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	令和 6 年 1 月 19 日		

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は田園が残る住宅地の中にある平屋の建物である。敷地内には、介護老人保健施設や運営母体の医院がある。医療との連携がとりやすく、急変時にすぐに対応できる。また、関連施設の理学療法士や作業療法士から、介護方法やリハビリについての助言があり、介護計画や生活リハビリの内容に活かしている。家族とのつながりを大事にしており、面会が多く、家族と協力して支援している。利用者と職員ともに、笑顔で明るい雰囲気である。利用者がその人らしく、住み慣れた地域の中で、安心していきいきと過ごすことができる事業所である。

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で家族の心で暮して行く理念に加え基本理念として利用者様本位の医療・介護を提供する理念を掲げ接遇心得を共有実践出来るように毎日唱和している。	事業所独自の理念があり、リビングに掲示している。職員は、朝礼で毎日理念の唱和を行い、意識づけをしている。理念は職員間で共有され、日々実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流は少ないがボランティアの受け入れや保育園の慰問、隣接する保育園児との交流、近隣への散歩やドライブ等に取り組んでいおる。	踊りのボランティアや保育園児の訪問を受け入れる等、地域と交流している。また、近くの神社の祭りでは、職員が準備や片付けに参加している。コロナ禍前は、隣接の介護老人保健施設と共同で、餅つきや夏祭りを開催し、地域住民も参加していた。感染状況をみながら、再開を検討していく予定である。散歩の時に近隣の人に会ったら挨拶をする等、交流をしている。	
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年は地域でのお祭りが開催されたので準備やかたづけ等のお手伝いに参加させていただきました。来年は利用者様も一緒にお祭りに参加しイベントや行事等を通じて地域との交流を深めて行きたい。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の開催時に様々な報告を行い現場での大変さも理解して頂き、ご意見をサービス向上に生かすように努めている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。コロナ禍前に傾聴ボランティアに来ていた方も参加している。会議では、利用者や活動状況、研修、委員会の内容について報告し、委員からの意見をもらっている。質問が多いが、ハラスメントについての意見があり、その内容を活かす等、会議で出た意見をサービスの向上に活かすようにしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に行政職員が参加されており、疑問点やサービス提供の相談を行い協力関係をきずいている。	日頃から市役所の窓口や電話で、報告・連絡・相談を行っている。コロナ禍前は、地域の健康教室や認知症カフェに参加していた。今後は機会があれば、行政に働きかけや協力をしていく予定である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	離設傾向のある利用者様もあり、その場に応じた見守り、対応を行い見過ごされる事がないように職員全員で慎重に検討している。	玄関の施錠は基本的にはしていない。外出傾向がある利用者には、見守りや付き添いを行い、行動をむやみに止めないように配慮している。全職員が身体拘束に関する内部研修に参加し学んでいる。	

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	学習会を重ねて職員への周知徹底に努めている。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について職員が理解するように学習の機会を設けている。現在成年後見制度利用の方はおられない。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、契約時に家族にパンフレットを用いて説明している。全体会議で、全職員が権利擁護に関する研修を受けている。権利擁護に関する制度のパンフレットを玄関に準備している。	
9	—	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要な事なので算定の係る体制の変更に当たっては分かりやすい説明を心掛けてご理解、同意・協力を賜っている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に話をする機会を設けている。平素から良好な関係作りに努め、意見があれば前向きに検討して繁栄している。	日常的に利用者の要望や意見を聴いている。お寺参りや家の仏壇に拝みにいきたいと要望があり、家族の協力のもと行っている。面会時は、利用者の状況報告をして、家族からの意見や要望を聴いている。面会や外出・外泊の希望時は、実施できるように対応している。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りやカンファレンスを行う事で職員の意見や提案を伺い、サービスに繋げている	全体会議の前に、職員が意見を記入し、それを基に会議をしている。職員からの意見は、まずはやってみて、その結果でどうするかを検討している。食事の形態や食器の種類、生活リハビリ等、利用者の介護に関する内容や業務内容についての意見が多い。新人職員には管理者から声かけをしている。	
12	—	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の日頃の努力に感謝されている。毎月代表者会議を行い又幹部を交えた合同カンファを行う事で職場環境・条件の整備に努めている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	基本的に福祉現場で働く熱意や人柄を重視し採用は平等に実施されている。研修参加等で長期的に自己実現出来るように配慮している。	採用選考は、年齢や性別等を理由に採用対象から排除していない。関連施設への異動希望や希望休、勤務可能な時間帯での勤務等、管理者は職員が働きやすいように配慮している。園芸や手作業等、職員が得意分野を活かして、能力が発揮できるようにしている。	
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	年間の勉強会の予定に入れ、高齢者施設の従業者として人権学習に取り組んでいる。	人権についての研修は、全職員を対象としており、内部研修や隣接の介護老人保健施設の研修に参加している。高齢者の人権や同和教育等、幅広い内容で研修を実施している。出席できなかった職員は、資料で内容を確認している。	
15	—	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数に応じた研修をそれぞれ受講してもらっている。サービスの質の向上、効果を期待している。今後も各自の力に合わせた研修機会を確保しスキルUPを図って行きたい。		
16	—	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は出来ていないが法人内の委員会に各担当者が出席し交流を図っている。又リハビリ専門のOTやPTの意見を取り入れ利用者様の身体機能の向上に努めている		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
17	—	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に面会をして話を聞き、サービス利用が安心され良好な関係づくりに努めている。		
18	—	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前には不安が大きいため家族の意向を聞く機会を持ち、良好な関係づくりに努めている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援  サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の段階で必要とされている支援を見極めるよう他の機関と連携を図り情報収集に努め判断している。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に示す通り家族の心で支え合う関係を築いている		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	一番に本人様と家族の絆を大切にし共に支えあう関係をきずいている		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣へのドライブ、散歩、家族、知人の面会等人と場の関係が途切れないように努めている。	利用者の馴染みの人や場所について、職員は利用者や家族から情報を得ている。家族が利用者の知人を面会時に連れて来て会ったり、知人との電話を取り持つ等、馴染みの人や場所の繋がりが継続できるように支援している。	
23	—	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	難聴の方や理解力低下の方は利用者同士のコミュニケーションは乏しく、職員が間に入り孤立されないように支援に努めている。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時より関係を大切に付き合い、退居後も継続出来るように支援に努めている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
25	12	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員に相談できる環境を作り本人が表出するサインを見逃さないように努めている。	職員が利用者の生活を共有できるように、観察や見守りを行い、表情の変化を見逃さず、思いを汲み取るよう努めている。意向の把握が困難な場合は、家族へ相談している。利用者からリビングの席替えや家事をしたいと希望あった時は、要望に沿った支援をしている。	
26	—	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様のこれまでの暮らしぶり等を聞き取り把握しサービスを支援に役立てている。		
27	—	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で現状の心身状態の観察を行い、現状把握に努めている。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員より情報収集し日常生活で利用者様、家族の思いを汲み取り又カンファにて現状から見た課題を出し合い現状に即した介護計画作成に努めている。	基本3ヶ月に1回の頻度で介護計画の見直しを行っている。医療法人が母体である強みを活かして、利用者及び家族の意見はもとより、医師、看護師、理学療法士、作業療法士等の多職種協働のもと作成している。介護計画書の作成や見直し時は、利用者や家族に説明をして、署名をもらっている。	
29	—	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	看介護記録に基づき、気づきや工夫に努め検討し介護計画の見直しを行っている。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況変化によりニーズも変化するのでその時々合ったサービスに努めている		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その人らしく生活して頂く為、地域の方々と何か出来るか前向きに取り組んでいきたい。来年は地域のお祭り行事に利用者様と参加する予定である。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	専門医受診は家族に受診をお願いしている。初診の際は職員も付き添い状態説明等情報を提供している。納得が得られたかかりつけ医については連携をとり支援を行っている。	入所前からのかかりつけ医や運営母体の協力医院による受診を支援している。利用者や家族の意向に沿って、皮膚科や眼科等、他の医療機関との連携も密に図っている。緊急時も適切な医療を受けることができるよう体制を整備している。	
33	—	○看護職との協働  介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	早期発見や早期治療を基本とし法人内の医療機関と連携をとり支援を行っている。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際はご家族、病院の関係者と連絡を取り合い、安心して頂けるように入院生活の支援を行っている。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急速な重度化があるので、医師の説明は早い段階で行い状態について説明されている。又本人様や家族の意向を共有し医師指示のもと支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の対応方針について明文化している。利用者や家族の意向を反映できるように、地域の医療機関と密に連携を図り、早めの対応を実践している。状況変化に応じて、利用者と家族の意向を大事にしながら、職員や医師と話し合い、方針の共有をしている。	
36	—	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員間のレベルに幅があり学習会等を繰り返して実践力のレベルアップを図っている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は年2回の避難訓練を行っている。 法人内や消防署への連絡体制は築いているが地域からの参加はない。	マニュアルを作成しており、年2回避難訓練を消防署の協力を得て実施している。その内1回は夜間を想定した避難訓練を行っている。隣接の介護老人保健施設と避難訓練時、協力体制がある。避難訓練を実施する際に地域住民に呼びかけを行っていない。非常用備品については、3日分を事業所内に準備している。	非常時には地域住民の協力が不可欠なため、避難訓練を実施する際は地域住民への呼びかけを行ってほしい。
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねる対応や悪い言葉遣いはその場で注意しあい問題提起して改善に努めている。	利用者の前で大きな声を出さない、おむつ交換や入浴時に戸を開けたままにしない等、利用者の人格を尊重し、プライバシーを配慮した支援をしている。職員同士で、プライバシーの確保の対応について、気付きを言い合える環境となっている。外部研修に、一部職員が参加し、伝達研修を行っている。	
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定が出来るように働きかけ、困難な利用者様には常に行動や表情の変化を観察して本人の思いに添えるように支援に努めている。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「その人らしく」を基本理念に職員の都合や決まり事を優先するのではなく一人一人のペースに合わせ寄り添う支援に努めている、		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理美容を利用しカットや顔そりをしていただいている。自分で洋服を選ばれ着用されている方も多い。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のレベル低下により力を活かす事は困難である。食事介助や見守りが多いが、食後はその方の能力に応じてお盆拭きや洗濯物をたたんだり等のお手伝いをして頂いている。	主食と汁物は事業所で作っており、主食はパン変更可能である。利用者と一緒に、テーブル拭き等片付けをするが、利用の希望に沿って、押し付けることがないように配慮している。季節にあった葛湯や生姜湯の提供したり、毎月誕生日会を実施し、饅頭やケーキを提供し、食事を楽しくするようにしている。	



項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士バランス良い食事を提供出来ている。摂取量・水分量をチェックして健康管理を行っている。		
44	—	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の準備にて自力・一部介助・全介助にて口腔ケアを行っている自力の方でも義歯洗浄は確認し不十分なところは介助行い清潔保持に努めている。		
45	19	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に時間を記入し頻度や量・間隔・確認して失敗を減らすように努めている。夜間はオムツ使用の方も日中はトイレ誘導可能利用者様には排泄支援をおこなっている。	職員間で利用者の排泄パターンを分析し、共有することで、利用者一人ひとりのサインを見逃すことがないようにし、自尊心を傷つけないように、チームアプローチで実践している。利用者へは、声かけの工夫や時間をおいて声かけを行う、距離感をもって見守る等、さりげなく支援をしている。	
46	—	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分補給をして体操や運動をレクレーション内容に取り入れている。便秘傾向である利用者様には腹部マッサージや医師の指示で内服・座薬・でコントロールを行い、健康管理を行つている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	入浴を楽しみにしている利用者様は多く、一人一人ゆっくり入浴して頂いている。拒否ある方は時間や日程を調整し清潔を保持している。	週2回、入浴日を設定しているが、希望があれば入浴日以外でも対応している。浴槽に入ることが難しい利用者は、隣接の介護老人保健施設のリフト浴を使用することもある。入浴を望まない利用者には、声かけの仕方の工夫や、時間や職員を変える等して対応している。入浴剤の使用や菘蒲湯を取り入れて楽しんでもらえるよう工夫している。	
48	—	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はホールにてテレビ視聴や新聞、本を読まれたり、塗り絵、計算問題等様々である。又個別に適度な運動やレクレーションを取り入れて夜間良眠出来るように支援している。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服情報は各自確認理解して変化時は医療機関と連携して状態にあった処方薬で症状把握に努めている。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自分の役割を持った利用者様は少なく負担に感じられない事をお願いしている。家族の面会は楽しみで共通していて気分転換になっている。又事業所としては散歩や外出等を取り入れて支援をおこなっている。		
51	21	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族との外出や外食等の促し等ご家族の協力のもと戸外に出かけられるように支援している。季節や天候に応じて近隣への散歩やドライブ等の支援をしている。	季節変動や感染症の影響もあり、外出支援はできる範囲で行っている。法人内の散歩を定期的に行っている。今後は感染対策を行いながら、近くのスーパーや花屋への外出を企画している。また、家族の協力を得て、利用者が行きたい場所に外出や外食をしている。	
52	—	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人的にお金を所有されている人はいない。物品購入の際は家族に依頼している。		
53	—	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に互希望時は対応支援行っている。手紙のやり取り可能な利用者様は投函や手渡しの支援を行っている。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のホールに季節に応じた装飾をしている。又細目な空調の調節を行い車椅子の移動時には安全に配慮し音・光に不快な思いにならないように努めている。	リビングは、日当たりがよく明るい。利用者が作成した折り紙等の作品が飾られており温かみを感じられる。共用空間のホールから見えるように、外の花壇に季節感を感じる花を植えており、利用者から大変好評となっている。掲示物の位置は、利用者の目線に合わせるようにしている。テーブルの配置や椅子の配置は、利用者の関係性に配慮している。	

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では本人様が居心地よく過ごしてもらえるように居場所確保と安全面に気をつけている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好みの物を置いてもらったり、家族写真を掲示し居心地よくすごしていただくように工夫している。	居室は、窓に障子があり、光彩が柔らかい。利用者の居室にテレビやタンス、仏壇等の馴染みのものが持ち込まれている。利用者自身が作成した作品や家族写真を飾っている。殺風景になることがないようにできる限り工夫している。	
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを付けたりホーム内はバリアフリーである。安全面に気を付けて自立した生活ができるようにその人にあった対応を工夫している。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
<b>V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）</b>						
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
			<input type="radio"/>	①毎日ある	<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			<input type="radio"/>	③たまにある	<input type="radio"/>	④ほとんどない
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
			<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		（該当する箇所を○印で囲むこと）			
<b>V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）</b>						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 （参考項目：9, 10, 21）	○	①ほぼ全ての家族と		
				②家族の2／3くらいと		
				③家族の1／3くらいと		
				④ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：2, 22）	○	①ほぼ毎日のようにある		
				②数日に1回程度ある		
				③たまにある		
				④ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）	○	①大いに増えている		
				②少しずつ増えている		
				③あまり増えていない		
				④全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 （参考項目：11, 12）	○	①ほぼ全ての職員が		
				②職員の2／3くらいが		
				③職員の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2／3くらいが		
				③利用者の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が		
				②家族等の2／3くらいが		
				③家族等の1／3くらいが		
				④ほとんどいない		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域でのんびり楽しくその人らしくを基本理念とし、毎朝唱和し共有・実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園より慰問に来て頂き、利用者様とのふれあいの機会があり大変喜ばれていた。行事の家族参加はなかったが、面会や外出は再開し、来設時に日頃の状況を説明している。		
3	—	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の貢献は行えていない。今後は自治会、老人会、学校との交流を深め認知症の理解や支援の方法を地域の方に活かしていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為開催できていなかったが、令和5年4月19日より再開し2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、状況について報告している。地域の催し物などの情報を聞き、今後の活動に活かして行きたいと考えている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所福祉課の方に運営推進会議へ参加して頂き状況を報告し、意見を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束のチェック表を用いて日頃のケア時拘束を行っていないかを振り返っている。玄関入口にセンサーコールを設置し利用者様の見守りを行いながら施錠を行わない様にしている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	—	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	法人内の権利擁護委員会やホーム内の勉強会に参加する事で職員は理解を深め虐待防止の徹底を図っている。		
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会に取り入れる制度の理解に努めている。		
9	—	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分な説明を行いご理解を得ている。不安や疑問点がないかを尋ね十分な説明を行っている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来設された際に状態の説明を行っている。中々来設が難しいご家族様には電話連絡で近況報告を行いご意見ご要望を伺い、それを現場に反映している。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、カンファレンスを行う事で職員の意見や提案を聞き現場に反映している。		
12	—	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日頃の職員の努力に感謝されている。毎月代表者会議を行い、また幹部を交えた合同カンファを行う事で、職場環境・条件の整備に努めている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	9	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している	職員採用にあたっては、代表者、法人幹部で面接を決定しており、管理者も面接に立ち合い意見を取り入れてもらっている。また、個々の能力が発揮出来るようコミュニケーションも欠かさず行っている。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎月実施している身体拘束のチェック表を基に人権に関する内容未含め、職員の意識の徹底を図っている。		
15	—	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に外部研修を受け、それを内部研修で他の職員伝え職員全体で共有、それを活かしサービスの向上に努めている。		
16	—	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は今のところ出来ていない。同業者が企画している勉強会に参加して交流を深めて行きたい。		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
17	—	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人と面談し本人の困っていることや意思を確認しながら安心して頂ける関係づくりに努めている。		
18	—	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前にご家族の意向を確認し不安な事や要望に耳を傾け対応し良好な関係づくりに努めている。		



項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	—	○初期対応の見極めと支援  サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まで必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居当初にアセスメントを行い、ご本人ご家族の意向を確認し、安心出来るような環境作りに努めている。		
20	—	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人と共に過ごし理解を深め、楽しい時間作りに努めている。ともに支えあいながら信頼関係を構築している。		
21	—	○本人を共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて本人の状況を伝え、安心していただける様に努めている。ご家族の負担にならない程度で面会や外出の機会を作って頂ける様提案している。		
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在の面会者は家族と限定しているが、ほとんどの方が面会の機会を作ってくれている。数名であるが、定期的に外出を行われている。ある方は入居前に兄弟の間で定期的に食事会を行われてあったとの事。入居後も兄弟で食事会を2回ほど行われた。		
23	—	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係の構築が出来ている方も半数ほどいるが、状態的に難しい方は職員が間に入って支援し孤立のないように努めている。		
24	—	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も必要に応じて、ご本人・ご家族の経過をフォローしている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
25	12	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にご本人の心身の状況や生活歴をアセスメントし職員全体で情報を共有している。また日々の関わりの中でご本人の思いを見落とさないようにしている。		
26	—	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の会話の中から個々の生活歴や馴染みの暮らし方をアセスメントしケアに役立てている。		
27	—	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で心身状態の変化などに気をつけて、観察を行い、現状把握に努めている。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員より情報収集をし、日々の生活の中でご本人の思いを理解し個別にカンファレンスを通じ介護計画を立てている。		
29	—	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の関わりや観察の中で、実践・気づき・結果・変化などを看介護記録に記入し情報の共有を行い、カンファレンスを通じ介護計画の構築を行っている。		
30	—	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	専門医受診にご家族様と一緒に職員も付き添いを行っている。急な受診は職員のみ付き添い受診する事もある。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	—	○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在地域の方と交流の機会があまりなが、今後地域の催し物などに参加していけたらと考えている。運営推進会議場などで情報を収集し検討して行く。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族は契約時にかかりつけ医を決められている。他科受診の場合は必要に応じて処す印が同行し送迎や受診の支援を行っている。		
33	—	○看護職との協働  介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の医療機関より毎日看護師が来設し状態の把握に努め、適切な受診や看護が受けられるよう支援している。		
34	—	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院の際は、ご家族・病院関係者に連絡を取り、安心して頂けるよう入院生活の支援を行っている。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応について指針を説明し、ご理解を得て同意書を頂いている。ご家族の意向を確認しながら医療との連携を図り支援を行っている。		
36	—	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に、備えてマニュアルを作成し全職員に周知している。		

項目番号		項目	自己評価	外部評価	
自己	外部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年2回(昼/夜間想定)避難訓練を行っている。法人内や消防署への連絡体制は出来ているが、地域との協力体制は築けていない。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴・更衣・排泄のプライバシーの配慮は徹底し行っている。利用者様を尊重しない声掛けや対応には、その都度指導を行っている。		
39	—	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の意思を確認し支援を行っている。意志疎通が難しい方は日々表情や行動を観察しその方に適した支援を行っている。		
40	—	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「その人らしく」を基本理念に職員の都合を優先するのではなく、個々の希望やペースを大切に支援している。		
41	—	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理美容があり、カット・顔そりを利用されている。衣類は自分で選べる方は、好みの物を選んで着用されている。化粧水やクリームを習慣的に使っている方もおられ、無くなる前にご家族に連絡を入れている。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は難しいが、テーブル拭きなどのお手伝いをお願いしている。行事食や飲み物で季節感を感じてもらい楽しんで頂いている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	—	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士により栄養のバランスのとれた食事を提供出来ている。一人ひとりにあった食事形態を提供し栄養や水分を確保できるよう支援している。		
44	—	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアはを実施している。磨残しがある方や自分でケアが困難な方は、介助を行い口腔内の清潔保持を行っている。		
45	19	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いて個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導やオムツ交換を行い、失禁の軽減に努めている。		
46	—	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方は温番法や腹部マッサージを行っている。またDrの指示のもと内服コントロールを行っている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている	週2回の入浴を実施している。季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯を提供し、季節感をあじわってもらっている。入浴拒否時は無理をせず、日を改めて声掛けを行い、気持ち良く入浴して頂いている。		
48	—	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はホールにてテレビ視聴や新聞・本を読まれたり塗り絵・計算問題・身体機能訓練を行われたりと様々である。また一人ひとりに適した休息時間を作り活動時間と休息時間のバランスをこころがけている。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	—	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は担当者がおこなっている。個々に説明書があり、内容を確認出来るようにしている。職員は確認し理解している。		
50	—	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員が掃除をする時に特定の方であるが、モップがけなどをお手伝いして下さったり戸外へのゴミ捨てに同行してもらっている。		
51	21	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の希望があるところは、外出の機会を作ってもらっているが、協力が難しいところは職員と一緒に法人内を散歩したりと、戸外に出る機会を設けている。		
52	—	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人でお金を所持されている方はおられずご家族管理である。		
53	—	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持されてある方もおられ、電話を取り次いだり手紙のやり取りが出来るように支援している。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースはスムーズに行き来が出来るようにテーブルを配置している。利用者様同士の関係性を配慮し席の割振りも行っている。細目に空調や湿度調整をおこない、快適に過ごしてもらえる様に支援している。		

項目番号		項目	自己評価 実践状況	外部評価	
自己	外部			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	—	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の関係性を考慮して、席の配置をしている。必要に応じて席替えを行いトラブルのないようにしている。共有スペースにソファを設置しゆったりと過ごして頂けるようにしている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望の方は自宅よりテレビを持参して頂き、居室にテレビを設置し、番組を楽しまれている。ベットサイドにテーブルやボックスを設置し、その方の居心地の良い空間作りに心掛けている。		
57	—	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室・居室等移動がスムーズに出来るように適所に手すりを設け転倒予防に努めている。		

項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果	
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)	
<b>V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）</b>				
58	—	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
59	—	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40)	<input type="radio"/>	①毎日ある
			<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			<input type="radio"/>	③たまにある
			<input type="radio"/>	④ほとんどない
60	—	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
61	—	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	—	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	—	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんどいない
64	—	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
			<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない



項目番号		項 目	取 り 組 み の 成 果			
自己	外部		(該当する箇所を○印で囲むこと)			
<b>V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）</b>						
65	—	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21)	○	①ほぼ全ての家族と		
				②家族の2/3くらいと		
				③家族の1/3くらいと		
				④ほとんどできていない		
66	—	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22)	○	①ほぼ毎日のようにある		
				②数日に1回程度ある		
				③たまにある		
				④ほとんどない		
67	—	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている		
				②少しずつ増えている		
				③あまり増えていない		
				④全くいない		
68	—	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が		
				②職員の2/3くらいが		
				③職員の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
69	—	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が		
				②利用者の2/3くらいが		
				③利用者の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		
70	—	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が		
				②家族等の2/3くらいが		
				③家族等の1/3くらいが		
				④ほとんどいない		